

第7期事業実績報告

第7期計画において、実績・目標を記載している事業について、第7期の実績は以下のとおりです。

※7期実績（R2）の「見」は、現時点での見込みであることを示しています。

※各事業の内容は7期計画書記載時点のものを転載しています。

IV 高齢者福祉施策の方向性

1 健康づくりの推進

(1) 敬老行事

●毎年、9月1日現在において75歳以上の方を対象に敬老行事を開催した自治会等に交付金を支給しており、長寿を祝福するとともに、各自治会等における敬老行事開催の支援となっています。今後も事業を継続し、全地域で敬老行事が開催されるよう支援を行います。なお、協働事業として位置づけられているため、引き続き地域協働所管課との調整を図りながらまちづくり交付金事業へ移行していきます。

●将来は、介護施設において開催されるのみ実施することとなる予定です。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	5,901	4,657	2,415	1,700	1,200	200
回数 (回)	77	66	30	21	19	7
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				1,594	1,098	889
				23	20	35
※2020年度は記念品贈呈地区を想定。						
評価結果	課題と対応策など					
実施（達成）できた	<p>2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため敬老行事の会合を実施しない自治会や介護施設等に対し、記念品等を贈呈した場合でも交付金対象にしています。</p> <p>まちづくり協議会の設置に伴い開催自治会が減少する見込みでしたが、2020年度は田助地区においては自治会単位で開催されました。今後も、自治会や施設等で開催される敬老行事に対して交付金を支給します。</p>					

第7期事業実績報告

(2) 敬老祝金・長寿祝金

●喜寿、米寿、百寿の節目祝の方に対し、祝金を支給することで敬老の念を伝えており、今後も継続する必要性があります。平均年齢が喜寿年齢（77歳）を超えており、また年々対象者は増加すると見込まれているため、対象年齢や支給金額の見直しを検討します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
77歳人数 (人)	496	424	429	470	440	420
88歳人数 (人)	267	268	241	270	280	290
100歳人数 (人)	15	17	15	15	20	20
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
77歳人数 (人)				489	470	470
88歳人数 (人)				269	283	283
100歳人数 (人)				12	18	15
80歳人数 (人)						397
81歳人数 (人)						381
82歳人数 (人)						404
83歳人数 (人)						398
84歳人数 (人)						394
85歳人数 (人)						376
86歳人数 (人)						320
87歳人数 (人)						339
88歳人数 (人)						306
※2020年は経過措置として80歳～88歳が対象。						
評価結果	課題と対応策など					
実施（達成）できた	<p>2020年から、敬老祝金の支給対象者が80歳に変更されました。経過措置として、2020年は80～88歳に支給します。</p> <p>「体調が悪い」等の理由で、本人が市役所窓口等で申請できない場合がありますが、郵送による申請や親族等による代理申請が行われています。今後も支給を希望される対象者が申請できるよう支援していきます。</p>					

第7期事業実績報告

(3) 福祉健康まつり

- 福祉団体、福祉施設等が参加した福祉健康まつり実行委員会により、文化センターを会場として開催しており、作品展、ふれあいコーナー、売店・呈茶コーナー、各種相談コーナー及び福祉関係の講演を実施します。
- 高齢者、障害者、児童等の地域社会あるいは家庭にける温かなふれあいがあり、健やかでやさしさのある福祉のまちづくりを推進します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
参加者数 (約人)	3,500	3,500	4,300	3,800	3,800	3,800
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				4,400	4,800	—
※2020年度はコロナの影響により開催中止。						
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	多くの来場者があり満足度も高いが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、これまでの実施方法の見直しを検討する必要があると思われます。					

(4) 健康づくり推進協議会

- 健康増進、母子保健、予防接種など保健事業についてあらゆる角度から審議するための有効な場として、今後も実施します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	15	15	15	16	16	16
回数 (回)	1	1	1	1	1	1
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				17	17	16
				1	1	1
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	2019年度は健康づくり計画中間見直し期でもあったため、この協議会において審議しました。					

第7期事業実績報告

(5) 健康教育事業

●健康の維持増進の目的で、出前講座等の依頼があった地区自治会・老人会・婦人会等に出向き、生活習慣病予防や特定健診受診勧奨のための健康教育を実施しています。健康づくり推進員、食生活改善推進員が、各種健（検）診、生活習慣病予防、栄養改善について学ぶことで、地域住民の健康意識の変容に貢献しています。

●今後は、地区診断を行いメタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合や高血圧者の割合が高い地区に健康教育を行うなどの取り組みを実施していく必要があります。

	6期実績		▶	7期実績（2019年度）	
	回数（回）	参加者延人数（人）		回数（回）	参加者延人数（人）
一般健康教育	75	1,766		37	784
歯周疾患	8	93		0	0
ロコモティブシンドローム	11	137		0	0
病態別	23	478		5	140
合計	117	2,474		42	924
評価結果		課題と対応策など			
実施（達成）できた		メタボリックシンドロームが多い地域である宮の浦地区において、生活の実態把握のための訪問調査や、結果説明会会場で住民に対して健康教育を実施しました。また、若い頃からの望ましい生活習慣についての健康教育を学校の協力のもと実施しました。			

(6) 健康相談事業

●健康の維持増進のため、老人会、特定健診、健康教育時等に個別に血圧測定・保健指導を実施しています。

●今後は、職員間の指導方法の統一化、スキルアップを行う必要があります。

	6期実績		▶	7期実績（2019年度）	
	回数（回）	参加者延人数（人）		回数（回）	参加者延人数（人）
総合健康相談	24	710		7	317
重点健康相談	1	10		(51)	(309)
健診時の事後指導	41	2,457		52	2,112
結果説明会	58	1,163		53	1,040
合計	124	4,340		112	3,469
評価結果		課題と対応策など			
実施（達成）できた		健診受診者の中でも、特に重点健康相談対象者として、特定保健指導対象者や要受診レベルの「高血圧」「高血糖」「脂質異常者」「腎機能低下者」に対して個別にファイルを作成し指導を実施しました。			

第7期事業実績報告

(7) 食生活改善推進事業

●市民が自ら「食育」を進めていけるため、地域のリーダー役となる食生活改善推進員（通称ヘルスマイト）の養成・育成を行っています。ヘルスマイトは、保健師・栄養士による学習会に参加し、学校・婦人会・老人会などで調理実習を通じて望ましい食習慣の普及啓発活動を行っています。

	6期実績			7期実績		
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学習会 開催回数（回）	32	28	34	32	27	30
学習会 参加延人数（人）	396	372	462	359	376	354
地区伝達活動 開催回数（回）	136	143	124	136	148	124
地区伝達活動 参加延人数（人）	3,549	3,391	3,972	4,682	5,995	6,829
評価結果	課題と対応策など					
実施（達成）できた	ヘルスマイトの高齢化による会員の離脱に対して、新会員を増やすことができるかが課題です。					

(8) 健康づくり推進員設置事業

●健康づくり推進員は行政と住民のパイプ役となり、住民の健康に関する関心を高めてもらうため、健診の受診勧奨や自己研鑽のための研修会参加等の活動を行っています。

●推進員数及び活動実績ともに増加しており、研修会に参加し、そこで得た知見を、担当地区において個別訪問や、地区集会の場等を通して広めていただき、健（検）診の受診勧奨を行うことで健（検）診受診の動機付けになっています。

6期実績 受診勧奨における推進活動実績							
地区	①集会	②訪問	③電話	④その他	⑤地区講習会	講演会参加	
平戸	153回	3,520人	1,967人	237人	556人	15回	2回
生月	26回	888人	662人	25人	43人	2回	1回
田平	68回	1,337人	544人	111人	108人	13回	2回
大島	20回	283人	66人	4人	1人	0回	1回
計	267回	6,024人	3,239人	377人	708人	30回	6回
7期実績（2019年度） 受診勧奨における推進活動実績							
地区	①集会	②訪問	③電話	④その他	⑤地区講習会	講演会参加	
平戸	197回	2,355人	1,204人	112人	216人	3回	0回
生月	23回	824人	545人	60人	56人	0回	0回
田平	66回	1,635人	457人	43人	90人	76回	9回
大島	17回	377人	0人	0人	3人	0回	0回
計	303回	5,191人	2,206人	215人	365人	79回	9回
評価結果	課題と対応策など						
実施（達成）できた	健康づくり推進員の活動量について個人差が出ています。活動の大半が健診の受診勧奨となっており、地区での健康づくり活動まではいたっていない状況です。						

第7期事業実績報告

2 生涯学習・スポーツの推進

(1) 生涯学習の推進

●社会教育・生涯教育関連機関と連携して、高齢者を含む市民を対象とした生涯学習に関する情報を提供しています。また、高齢者の各種グループを対象に市民ボランティアや市職員が講師として出向き講義を行っています。今後は、出前講座を利用するだけでなく、自分の経験や技術、知識を地域で活かしていただくために、市民講師としての登録を推進します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	1,230	1,224	1,600	1,800	2,000	2,000
回数 (回)	61	78	99	100	100	100
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				3,387	2,508	800
				189	134	50
				※R2、コロナの影響により減		
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	高齢者いきいきサロンや老人クラブ等での利用を推進します。また、市民ボランティアによる講師が不足しているため、新たに発掘及び育成が必要になっています。					

(2) 高齢者作品展

●高齢者の多年にわたる趣味や芸術を活かし、生きがいと敬老精神の高揚を図るため、年に1回「福祉健康まつり」において、希望者の創作品を公開展示しています。

●長年の趣味が生きがいづくりにつながるよう、今後も例年の参加者だけでなく、その他の市民を巻き込んだ事業展開が図られるよう継続して実施します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
出品団体数	11	11	11	11	11	11
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				10	10	—
				※R2、コロナ感染症の影響により中止		
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成) できた	毎年高齢者施設からの作品を展示していますが、シルバー人材センターが作品展からバザーに変更したため出品団体数が減少しています。老人クラブ連合会からの出展が数年無いため、老人クラブ連合会からの作品展示をお願いしたいところです。					

第7期事業実績報告

(3) 高齢者スポーツ大会への参加支援

- 関連機関が連携して、高齢者の体力や運動能力に応じた軽スポーツや、世代間交流が可能なスポーツの普及を推進します。
- ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフの3種目については、予選会を開催後、ねんりんピック県大会へ出場しています。高齢者の良き目標や生きがいづくり、高齢者相互の交流親睦等に大きな役割を果たしており、今後も継続して実施します。
- 参加者が高齢化しており、新たな参加者の呼び込みについて検討します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
参加者数 (人)	37	41	42	50	50	50
競技数 (競技)	6	10	8	8	8	8
▼						
7期実績						
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	38	40	中止			
	8	8	中止			
※ねんりんピック開催プログラム冊子から						
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	<p>新たな参加者が少ないため、参加者数及び競技数はほぼ横ばいの状態です。市内で予選会を実施している競技もゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフの3種目で競技数の変化はありません。市広報誌による広報や高齢者関係団体への周知等を行います。</p>					

3 社会参加の推進

(1) 老人クラブ活動助成事業

- 高齢者の教養の向上、健康の増進、生きがいづくり及び地域社会との交流などを図っていますが、クラブ数、会員数の減少が続いています。
- 役員などの担い手の育成支援や老人クラブ加入促進の啓発を行うなど、クラブ数・会員数の増加、加入率の向上に取り組み、円滑な活動を行えるよう支援していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
クラブ数 (団体)	62	62	57	57	58	58
会員数 (人)	3,149	3,153	2,885	2,900	2,930	2,930
▼						
7期実績						
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	55	54	53			
	2,758	2,767	2,747			
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	<p>老人クラブ連合会及び単位クラブへの支援、並びに地域・世代間交流に対する支援を継続して行っていますが、クラブ数・会員数は減少傾向にあります。</p>					

第7期事業実績報告

(3) ひらどふれあい福祉事業

●高齢者の福祉活動の促進、快適な生活環境の形成及び保健福祉の増進を図るための事業を行う民間団体等へ、ひらどふれあい福祉基金を有効活用し、補助金の支給を行います。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
件数 (件)	8	1	1	2	2	2
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				1	2	1
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	申請団体が少なく、上手く事業を活用できていないのが現状です。今後は更なる啓発活動を行い、申請団体数を増やし、高齢者の福祉活動の促進、快適な生活環境の形成及び保健福祉の増進を図っていきたく考えています。					

(4) シルバー人材センターへの支援

●新規会員の加入が伸び悩む中、高齢の会員が脱退しており、会員数は年々減少傾向で、就業延べ人員、受注件数、契約金額とも横ばい状態となっています。就労を希望する高齢者に対して就労機会の拡大に取り組むなど、今後とも同センターの健全な発展のための支援を行い、就業の場の開拓及び会員確保に協力していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
会員数 (人)	265	249	250	260	260	260
受注件数 (件)	2,441	2,453	2,460	2,500	2,500	2,500
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				263	270	280
				2219	2099	2150
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成)できた	会員数及び契約金額は僅かながら増加傾向にあります。受注件数は減少、就業延べ人員は横ばいの状態です。 超高齢社会において、労働力人口が減少する中、高齢者の持つ労働力に期待が高まり、地域社会を担うシルバー人材センターの役割は益々重要となっているため、今後も安定的な事業運営のため、継続した支援が必要です。また、事業拡大に伴い、会員の確保及び事業の普及啓発のための周知活動に対し、市広報への掲載等の支援を行います。					

第7期事業実績報告

4 生活支援サービスの充実

(2) 高齢者等訪問理美容サービス事業

- 高齢者及び心身の障害、傷病等の理由により理美容院に出向くことができない方に対しては、理美容業者が居宅、老人福祉施設又は介護保険施設に赴くことで快適な生活の定常に寄与します。
- 本計画においても継続して行い、制度の周知と利用者数の増加を図ります。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
件数 (回)	110	140	160	170	180	190
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				162	127	151
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	今後も必要な方が事業を利用できるように、高齢者や施設等に対し制度の周知を行います。					

(3) 福祉通信機器等貸与事業

※台数は毎年度3月末時点の数値

- 一人暮らしの高齢者に対し、緊急通報装置を貸与することにより、緊急時における救急車要請等の対応をします。また、月1回の安否確認及び日常生活の心配事・悩み事等の相談にも対応し、対象者が安心して在宅生活を送ることができるよう事業を実施します。
- 平戸市保有の福祉電話貸与については、民間業者に安価な電話加入権を入手できるサービスがあるため、新規の受付は行っていません。今まで利用されている方々に対して、今後も継続して実施していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
貸与台数 (台)	355	323	317	330	330	330
自治体保有台数 (台)	9	4	4	4	4	4
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				259	228	226
				3	1	0
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	緊急通報装置貸与については、新規設置申請者に対して撤去者が多いため、設置者が年々減少傾向にあります。2020年度からは付属の機能として人感センサーの設置を行っています。貸与事業の周知を図り、安心して在宅生活を過ごせるよう支援します。 福祉電話貸与については、2020年度で保有台数がなくなり事業は終了します。					

第7期事業実績報告

(4) 在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業

●在宅で日常介護をしている家族に対して、介護の労をねぎらうことを目的に見舞金を支給します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
支給人数 (人)	52	46	49	50	50	50
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				42	40	50
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	申請者が減少傾向にあります。 在宅の寝たきり高齢者などを介護している人が申請できるように、周知を図ります。					

(5) 訪問指導

●市内に住所を有する在宅の一人暮らし高齢者等で日常生活を営むのに支障があるものに対し、在宅看護師が訪問し日常生活に対する支援及び指導、保健・福祉・医療の各種サービスの情報を提供することにより、必要時適切なサービスを活用し安心して地域で生活できるよう支援します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実利用者数 (人)	42	40	33	40	40	40
延べ利用者数 (人)	402	340	276	360	360	360
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				26	13	7
				194	122	84
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成) できた	介護サービスを利用されていない高齢者が主な対象者ですが、介護サービス利用、入所、転居などの理由で年度途中で終了するケースも見受けられました。また、新規対象者の相談がないため、利用者数が年々減ってきている状況です。そのため、事業の対象者や内容等の方針転換が必要です。					

第7期事業実績報告

(6) 離島地区への対応

●2009年度から実施している要介護・要支援認定者のサービス利用に係る渡航費助成事業を継続して行い、サービス利用を促進することで、サービス提供事業者の参入を促進し、離島と本土との格差是正を図ります。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実利用者数 (人)	71	94	85	87	89	90
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				91	86	90
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成)できた						

(7) ワンコインまごころサービス事業

●高齢者の電球の交換や買物など簡易な日常生活の困りごとに対して、シルバー人材センターが仲介となり、会員が1件につきワンコイン (100円) でお手伝いをします。

●利用件数の伸びだけでなく、利用者実数を増やせるよう、広報誌などの媒体を使い周知を図っていきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実利用者数 (人)	48	81	80	90	90	90
利用件数 (件)	679	1,453	1,500	1,600	1,600	1,600
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				96	85	97
				1489	1340	1400
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成)できた	一人暮らしの高齢者等において、既存の公的サービス等に対応できない者に対して、簡単な困りごとの役務提供を行っていますが、実利用者数、利用件数共に横ばいの状態です。 広報誌等で周知を図ります。					

第7期事業実績報告

(8) 平戸市高齢者見守りネットワーク事業

- 地域の中で、一人暮らし高齢者や要援護者などの見守りが必要な高齢者等に対して、自治会や民生委員・児童委員をはじめ、民間の郵便配達員や見守りサポーターなどさまざまな地域資源と連携し、見守り体制の整備を行っています。
- 今後、本体制を維持しながらも、見守りサポーターによる個別の見守り案件については、生活支援体制整備事業として、地域住民等での見守り体制を推進していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
利用人数 (人)	17	13	11	10	10	10
	▼					
	7期実績					
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	7	5	5			
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	概ね65歳以上で介護保険その他サービスのうち安否確認が可能なものを利用していない一人暮らしの高齢者等に対し見守りサポーターによる見守りを行っていますが、見守り対象者が年々減少しています。見守りサポーターや見守り協力機関、民生委員、まちづくり協議会等と協力連携し、市全域での見守りネットワークの構築を検討していきます。					

(9) 介護支援ボランティアポイント事業

- 高齢者の社会参加、生きがいづくりと介護予防及び地域のボランティアを推進し、いきいきとした地域社会を築くことを目的とし、活動を行っている方にポイントを付与し、ボランティア活動を奨励します。
- 65歳以上の高齢者が対象でしたが、2017年度から20歳以上に年齢枠を広げ事業展開しています。高齢者だけでなく若年層のボランティア活動も推進していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
登録者数 (人) <65歳以上>	219	267	317	330	350	370
登録者数 (人) <20歳～64歳>	-	-	30	50	60	70
支給人数 (人) <65歳以上>	104	175	249	280	300	300
支給人数 (人) <20歳～64歳>	-	-	25	40	50	60
	▼					
	7期実績					
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	415	484	554			
	33	46	66			
	219	200	288			
	11	16	60			
	※支給人数は訪問型含む					
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	高齢者の新規登録者に比べ、若年層の新規登録者が少ない現状にあります。2020年度からは、モデル事業として南部地区で訪問型ボランティアに対するポイント事業を行っています。事業の周知を行うとともに、ボランティア活動の場を広げ、参加を促進していきます。					

第7期事業実績報告

5 権利擁護の推進

(2) 高齢者虐待防止ネットワークの構築

- 高齢者が居住する地域の介護事業所、高齢者支援センター、警察署等と連携し事例に対応しています。
- 対応が難しい事案が多く、福祉・保健・医療・警察等の関係機関によるネットワークを構築し、虐待の早期発見・早期対応が取れる体制を構築・強化します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	5	1	6	5	5	5
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				7	9	6
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催は行っていませんが、個別事例の対応は、関係機関と連携して行っています。 関係機関との連携・協力体制の整備を行い、迅速・適切な対応ができるよう努めます。					

6 安全・安心のまちづくり

(1) 高齢者の消費者被害未然防止への取組

- 高齢者を対象とした詐欺や悪質商法の手口について、広報や出前講座・研修会等により情報提供していきます。
- 今後、消費生活センターと連携するとともに、警察・社会福祉協議会・民生委員など、関係者を含めた体制づくり、広報活動の充実に取り組みます

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	21	374	37	180	180	180
回数 (回)	1	7	2	6	6	6
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				140	185	50
				6	5	3
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	詐欺や悪徳商法の手口が年々多様化しているため、高齢者を始めとする消費者が、自分の身に起こり得る消費者トラブルを十分理解できていない状況です。 出前講座、広報及びホームページ等様々なツールを活用し、現状及び今後想定される被害等について高齢者に分かりやすく情報提供していきます。					

第7期事業実績報告

(3) 交通安全対策

●老人クラブや地域等における交通安全啓発・指導を実施していきます。あわせて、高齢者や障害者に対し、安全・安心な道路標識となるよう、警察・自治会・関係機関等と連携し計画的に整備を図っていきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	40	36	40	40	40	40
回数 (回)	2	2	1	1	1	1
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				241	162	90
				1	1	2
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	高齢化社会の進行に伴って高齢運転手が増加し、高齢運転手が加害者となる交通死亡の割合が他の世代に比べ相対的に高くなっています。身体能力の変化の自覚や誤操作防止を図るため、高齢者を対象とした参加・体験型の講習会等により、運転能力の振り返りや運転免許の自主返納の検討機会を継続して設けていきます。					

(4) 要援護者ネットワークシステムの運用

●一人暮らしの高齢者や障害のある人等の避難するときに支援を必要とする人を各嘱託員を通じて挙手制で要援護者ネットワークシステムに登録しています。
●登録者名簿を各嘱託員及び民生・児童委員に配布しており、緊急時には消防機関、県警察、自主防災組織へ情報提供するほか、平常時に名簿を基に、見守りや声かけなどを行うよう、システムの有効的運用に努めます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
登録人数 (人)	415	412	367	360	360	360
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				340	300	300
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成) できた	登録人数の減少は、既に登録者の死亡や施設入所や退院の見込がない長期入院によるものが多いです。新規登録者もいるが、減少数が新規登録者数と近いため、登録者数が増えていません。また、各地区の嘱託員を通じて登録をしているが、本当に支援が必要な人の登録には、ケアマネジャー等介護に関わる当事者の意見が必要であると思われます。					

第7期事業実績報告

7 介護事業者及び介護者への支援

(1) 介護職人材確保支援事業

●市内介護事業者等における人材確保のため、新規雇用や介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）等の資格取得によるキャリア形成を明確化した魅力ある労働環境づくりを支援します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
雇用者数 (人)	3	4	3	5	5	5
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				7	5	5
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成)できた						

V 地域支援事業の充実

1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

(1) 介護予防・生活支援サービス

① 介護予防・生活支援サービス事業

●訪問型・通所型サービス（運動・口腔・栄養改善事業等を含む）要支援1・2の対象者への予防給付サービス、二次予防対象者への介護予防事業を、総合事業として総合的かつ一体的に行うことができるようになり、これまで保険給付外で行われていた地域支援事業のサービスと併せて、市が主体となり、総合的で多様なサービスとして提供していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
訪問型・通所型サービス利用者数 (人)			550	570	590	600
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				575	545	540
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	短期集中予防サービスを実施し、事業終了から通いの場などの社会参加や地域活動につなぐ支援を行います。					

第7期事業実績報告

(3) 介護予防の普及啓発

① 介護予防教室

- 高齢者支援センターに委託し、平戸市医師会、県北地域リハビリテーション広域支援センター等の多くの関係機関の協力のもと、介護予防の普及啓発を行っています。
- 2018年度からは住民主体の通いの場等自主組織団体の立ち上がっていない地区等に働きかけ、介護予防教室を通して立ち上げ支援を実施するよう事業展開していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
団体数 (団体)	2	3	5	5	5	5
参加者数 (人)	29	27	75	75	75	75
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				0	0	0
				0	0	0
※2018年度から事業の方針見直し。2か年実績なしにより2020年度より事業中止。						
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	2018年度から住民主体の通いの場等自主組織団体の立ち上がっていない地区等に働きかけ、介護予防教室を通して立ち上げ支援を実施するよう事業展開をしましたが、方針転換した後の実績はありませんでした。そのため、住民主体の通いの場の新規立ち上げ支援のインセンティブとしての事業を2020年度より開始しました。既存の自主組織団体への介護予防講座は、出前講座にて実施するようすみ分けを図りました。					

② 健康教育

- 老人クラブ等の要望に応じて、疾病予防に役立つよう、時期によって健康上注意することなどをテーマに実施しています。要望のある地域が限定的であり、より多くの対象者への周知について検討します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
参加者数 (人)	956	1,090	1,200	1,200	1,200	1,200
回数 (回)	55	55	60	60	60	60
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				1,082	1,026	600
				79	70	40
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成)できた	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を2020年度から開始しており、今後は地区での健康課題について分析していく予定です。					

第7期事業実績報告

③ 食生活改善事業

- 生活習慣の基盤である食生活の重要性を認識するために、ライフステージに応じた正しい食習慣の確立を支援します。食生活改善推進員（ヘルスマイト）による地区伝達、高齢者世帯への訪問活動を通じて、望ましい食生活の普及啓発活動を行います。
- 今後、活動の推進とともに、研修・学習会等の開催により、推進員個人・組織の育成強化を支援していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
参加者数 (人)	1,124	838	900	900	900	900
回数 (回)	68	53	60	60	60	60
▼						
7期実績						
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	856	638	300			
	46	33	20			
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	老人クラブやいきいきサロンの参加者は女性が多く、限定されています。家庭での活用を目的に調理実習を行っていますが、身体的理由等により実習への参加率は低い状況です。					

④ 健康相談

- 個々に応じた保健指導を実施し、寝たきりの予防や自立の促進を支援します。健康診査や健康教室において、受診者・参加者の相談に対し、医師・保健師・栄養士・看護師が対応を行っています。
- 65歳以上に限らず全市民を対象として、今後も老人クラブ・いきいきサロンなどの団体からの要請に応じ、事業を実施していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
参加者数 (人)	2,742	3,135	3,000	3,000	3,000	3,000
回数 (回)	115	124	130	130	130	130
▼						
7期実績						
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	2,713	2,652	2,000			
	109	112	80			
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	後期高齢者の健診内容がメタボリックシンドロームからフレイル予防健診となったことにより、今後は「低栄養」「重症化予防」「口腔機能低下」「運動機能低下」「閉じこもり」「認知機能低下」傾向にある人を早期に見つけ支援していく必要があります。					

第7期事業実績報告

(4) 地域介護予防活動の支援

① 地域住民グループ支援事業

●高齢者の「生活支援」、「介護予防」の担い手としての「地域を支えるサポーター」を養成・育成する研修会を実施します。全ての日常生活圏域ごとに実施することを旨とし、高齢者の「生活支援」、「介護予防」の充実や支援体制づくりを推進していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
開催圏域数 (圏域)	1	4	4	5	6	7
サポーター人数 (人)	51	78	88	103	115	130
▼						
7期実績						
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	5	5	5			
	57	56	60			
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	2019年度までに日常生活圏域5圏域で研修会を実施していますが、全7圏域での実施には至っていません。これは生活支援体制整備 (SC配置や協議体設置) の状況を鑑みながら事業を進めてきたことも一因であると考えられます。 今後は全圏域における生活支援体制整備の推進も併せて推進していくとともに、サポーターが活躍できる場の提供を行うことも必要です。					

② 高齢者地域ふれあい事業 (いきいきサロン)

●介護予防活動、趣味活動等を行う地域のボランティア団体へ補助金を交付し、在宅高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活を送れるよう支援します。
 ●平戸市ふれあい・いきいきサロン連絡会 (2012年10月結成) を行い、組織強化を図ることにより、市全域での「ふれあい・いきいきサロン」の普及と団体及びボランティアの育成に努めます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実施団体数 (団体)	43	47	52	60	70	70
活動回数 (回)	680	765	830	960	1,000	1,000
参加人数 (人)	11,069	12,374	13,280	14,000	15,000	15,000
▼						
7期実績						
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	58	61	60			
	1,361	1,479	1400			
	16,392	18,576	18,000			
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成)できた	活動回数、参加人数ともに増加傾向にありますが、登録団体は横ばいの状態です。					

第7期事業実績報告

③ 地域づくりによる介護予防推進支援事業

●地域の中に住民主体による通いの場の立ち上げ支援を行い、高齢者の心身機能の維持・改善を図り、生きがい・役割をもって社会参加できる介護予防に取り組む場を地域に展開していくとともに、人と人とのつながり・支え合いを通じて参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
設置数 (か所)	8	26	48	63	78	88
参加者数 (人)	120	390	720	945	1,000	1,050
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				73	76	78
				1,273	1,121	1,100
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	住民主体の通いの場の立ち上げを支援していますが、立ち上げ数が伸び悩み傾向にあります。高齢者支援センターにおける新規立ち上げ支援のインセンティブ事業を2020年度より開始しました。住民主体の通いの場を活用しながら、新たな助け合いの場を創出する必要があります。					

(5) 「食」への支援

① 「食」の自立支援事業 (総合事業)

●要支援1・2、事業対象者で食事の調理が困難な在宅の虚弱高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の提供及び安否確認を実施します。
●2017 (平成29) 年4月から総合事業の枠組みで開始しています。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
利用者数 (人)			65	70	70	70
配食数 (食)			7,421	7,500	7,500	7,500
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				23	18	20
				2,334	1,654	1,668
※2020年度の配食数は4月～7月の平均139食×12月＝1668食として算出						
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	食に関する社会資源の充実及び地域での見守り体制の整備が進んでいること等により、年々利用者数・配食数の減少がみられます。 見守り及び配食が必要な方が利用できるように、関係者に対して制度内容の周知や情報提供を行います。また、受託事業所との協議を行います。					

第7期事業実績報告

V 2 包括的支援事業

(1) 地域包括支援センター等の運営

① 地域包括支援センター運営協議会の運営

●地域包括支援センター運営協議会を開催して事業の中立性・公平性を確保し、事業の充実を図っています。今後は地域課題を市の施策として検討、実施する地域ケア推進会議にも位置づけ開催します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	15	15	15	15	15	15
回数 (回)	1	1	1	2	2	2
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				22	20	20
				2	2	2
評価結果		課題と対応策など				
実施 (達成)できた		事業の分析や評価を行い、事業の充実を図る必要があります。地域課題からの必要な事業の施策化を検討します。				

③ 地域ケア会議の充実

●「地域ケア会議」は、地域包括支援センター及び市の会議であり、地域包括ケアシステムの実現に向け、一層の取組の充実を図る必要があります。

●具体的には、個別事例の検討を通じて、さまざまな職種の専門家によるケアマネジメント支援を行うとともに、地域のネットワーク構築、地域課題の解決、市の施策形成につなげるなど実効性のあるものとして定着・普及を図ります。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実施回数 (回)	15	73	52	50	50	50
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				51	44	34
評価結果		課題と対応策など				
一部実施 (達成)できた		2020年度は、新型コロナウイルスの影響で開催回数が減少しています。 個別事例の検討を通じて、さまざまな職種の専門家によるケアマネジメント支援を行うとともに、地域のネットワーク構築、地域課題の解決、市の施策形成につなげるなど実効性のあるものにしていく必要があります。 また、感染症対策を行いながらの会議の開催や環境の整備について、検討していきます。				

第7期事業実績報告

(2) 在宅医療・介護連携の推進

- 住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を推進します。
- 地域包括支援センター内に相談窓口を設置し、医療機関と介護事業所との連携を推進していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
相談件数 (件)				15	20	25
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				4	27	40
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	在宅医療介護連携コーディネーターの認知度が高まり、相談しやすい環境ができていますが、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策の検討をする必要があります。					

(3) 認知症施策の推進

① 認知症サポーターの養成

※2017年度は、区長会連合会にても養成講座を実施しているため、大幅に人数が増加している。

- 認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の人とその家族を見守る「認知症サポーター」を養成する講座を実施します。
- 高齢者の生活支援・介護予防の担い手である「地域を支えるサポーター」の研修会の中で認知症サポーターを含む地域を支えるサポーターの育成も行っていきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
講座回数 (回)	13	10	12	12	12	12
サポーター数 (人)	387	357	600	350	350	350
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				5	8	10
				157	181	210
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	毎年実績はあるものの若年層 (小学生～高校生) へのサポーター養成講座の実施が少ない状況です。安心して暮らせるまちづくり (見守り体制) のためには、幅広い年代へ講座を開催する必要があります。また、職域についても、更に様々な業種に対し実施し、まちづくりの推進につなげる必要があります。					

第7期事業実績報告

③ 認知症初期集中支援チームの推進

●複数の専門職が、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族を訪問し、アセスメントや家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行うものです。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
チーム員会議開催数 (件)			1	5	5	5
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				2	1	1
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	チーム員会議の開催が少ない状況です。特にチーム支援終了の判断に係る会議が開催できていないため、円滑に会議が開催できるような体制整備の検討が必要です。					

④ 認知症カフェの設置

●認知症の人やその家族、地域住民、専門職等の誰もが気軽に集い、互いに交流する場として認知症カフェを設置し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して尊厳のあるその人らしい生活の継続を支援し、その家族の介護負担並びに地域での認知症啓発を行います。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
設置箇所数 (箇所)			1	5	5	5
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				5	5	5
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	設置箇所数としては目標を達成できているものの、設置圏域は2圏域であるため、市民にとって身近な場所 (未設置圏域) へのカフェの設置が必要です。					

第7期事業実績報告

(5) 介護予防ケアマネジメント事業

- 予防事業の対象者については、アセスメント、情報共有のための担当者会議、事業実施、モニタリング、評価という一連の流れで、対象者の自立支援に向けたマネジメントを検討していきます。
- また、予防給付対象者（要支援認定者）、総合事業対象者については、包括及び委託（居宅介護支援事業所）で必要者に対し、介護予防ケアマネジメントの一連のプロセスを実施しサービスを利用しており、今後も継続して支援します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実施件数 (件)	475	544	583	600	610	620
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				585	553	550
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	<p>高齢者自身が健康増進や介護予防についての意識を持ち、取り組みができるように、本人の状態に応じたケアプランを作成することが必要です。目標を設定し、その達成に向けた取り組みを生活の中に取り入れ、高齢者の「心身機能」「活動」「参加」の視点を踏まえた内容になるよう、要支援者等の選択を支援します。</p>					

(6) 総合相談支援・権利擁護事業

- 地域包括支援センター及び市内6箇所にある事業所、高齢者支援センターに委託実施し、高齢者に身近な相談窓口を設置し専門的な支援を実施しており、支援困難ケースや高齢者虐待ケース等に対する早期発見の対応策を検討します。また、関係機関のネットワーク形成・強化の仕組みづくりを検討します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
相談件数 (件)	321	359	360	360	360	360
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				408	498	520
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成) できた	<p>地域包括支援センター、高齢者支援センターにおける相談件数は年々増加傾向です。しかしながら、地域包括支援センターへの相談件数が多く、高齢者支援センターで対応できるケースも多く見受けられるため、身近な相談窓口である各圏域の高齢者支援センターの更なる周知が必要です。また、相談に円滑に対応できるよう、関係機関ネットワークの形成を推進する必要があります。</p> <p>権利擁護体制の推進については、成年後見制度の利用促進のための体制整備が必要です。また、高齢者課題だけでなく、精神疾患や経済的問題など重複したケースが増えています。多重課題を抱えているケースについては重層的な支援体制の整備が必要です。</p>					

第7期事業実績報告

(7) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- 主に市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員及び施設や病院等に所属している有資格者の団体である平戸市介護支援専門員連絡協議会が円滑に活動できるよう支援しています。
- 特に関心が高いテーマを取り上げ、年3回の定例学習会や、介護関係者研修会を開催しており、またケアマネジャーからの困難事例の相談については、関係者で協議しながら支援しています。今後も、ケアマネジャー及び介護関係者と共に、高齢者が住みやすい地域づくりを検討します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
研修会回数 (回)	6	6	8	8	8	8
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				7	5	2
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため集合型の研修が開催できませんでした。感染予防をしながらの研修会開催 (Web研修等) を検討する必要があります。					

第7期事業実績報告

3 任意事業

(1) 介護給付費適正化事業

- 介護給付費が適正に支給されているか、効果のある介護サービスが行われているか等の状況を正確に把握し、透明性が高く公正で効率の良い制度の運用を図るものです。
- 介護サービス事業者の事業内容の把握や関係機関の連携強化を図りつつ、介護給付費について受給者本人への通知や統計的な分析等を行うことにより、幅広い視点から介護保険事業の適正化を推進します。
- 平戸市では、国の設定する主要5事業を実施し、真に必要なかつ良質なサービスの提供と、持続可能な介護保険制度の構築を図ります。

	7期目標		
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
要介護認定の適正化	全件実施	全件実施	全件実施
ケアプランの点検 (件)	204	204	204
住宅改修等の点検 (件)	14	13	12
縦覧点検・医療情報との突合 (回)	12	12	12
介護給付費通知 (件)	2,670	2,700	2,730
	▼		
	7期実績		
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
	1,967	1,948	1,800
	450	400	400
	50	11	12
	12	12	12
	2,060	2,161	2,150
評価結果	課題と対応策など		
一部実施 (達成)できた	「③住宅改修等の点検 (住宅改修の点検、福祉用具購入・貸与調査)」「④縦覧点検・医療情報との突合」について、国保連合会のデータチェックのみではなく、具体的な対応策を今後は行っていく必要があります。		

(2) 家族介護への支援事業

① 認知症高齢者等家族支援サービス事業

- 認知症高齢者が徘徊した場合、早期発見できる装置 (位置探知システム) を利用する家族に対し、初期設定費用 (上限1万円) を助成します。
- 現状では助成実績が少ない状況です。今後は、適切なニーズを把握し、一層の周知啓発に取り組みます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
件数 (件)	1	1	1	1	1	1
				▼		
	7期実績					
	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見			
	0	1	1			
評価結果	課題と対応策など					
実施 (達成)できた	位置探知システム助成事業については、毎年実績が少ない状況ではありますが、位置探知システムが必要な方が本事業によりシステム導入を前向きに検討できるよう、更なる周知が必要です。 2018年度より高齢者QRコード活用見守り事業を実施しており、登録者数は2018年度3名、2019年度2名です。					

第7期事業実績報告

② 家族介護教室

●介護者の孤立や不安を防ぐため、介護家族等が参加する研修会や交流会を実施しています。また講演・講習等の開催により、認知症理解の普及啓発を行っています。今後とも継続し、介護家族に限らず、市民の認知症に対する知識・理解を深める事業を展開していきます。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実人数 (人)	23	34	17	20	20	20
回数 (回)	12	12	12	12	12	12
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				137	137	150
				12	10	17
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	2020年度からは北部圏域に加え、田平圏域でも開催しています。教室開催のニーズがあるため他圏域での実施も今後検討していきます。また、教室は認知症地域支援推進員を中心に運営していますが、自主組織への育成をしていく必要があります。					

(3) その他の事業

① 「食」の自立支援事業(任意事業)

※2017年度(見込み)の分から、総合事業へ移行している分は含んでいない。

●65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、心身の障害及び疾病等の理由により、食事の調理が困難な在宅の虚弱高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の提供及び安否確認をします。

●2017(平成29)年4月からは平戸市独自の任意事業の枠組みで行っています。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
利用者数 (人)	241	212	78	80	80	80
配食数 (食)	32,876	24,510	11,000	11,000	11,000	11,000
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				37	22	20
				5435	3719	3,348
評価結果	課題と対応策など					
一部実施 (達成)できた	<p>概ね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯の要介護認定者及び障害者に対して、自立支援の観点から見守り及び配食を行っています。食に関する社会資源の充実及び地域での見守り体制の整備が進んでいること等により、年々利用者数・配食数の減少がみられます。</p> <p>見守り及び配食が必要な方が利用できるように、関係者に対して制度内容の周知や情報提供を行います。また、受託事業所との協議を行います。</p>					

※2020年度の配食数は4月～7月の平均279食×12月＝3348として算出。

第7期事業実績報告

② 住宅改修支援事業（理由書作成）

●高齢者向けに住宅改修を希望する人に対して、住宅改修に関する相談・助言を行うとともに、介護保険制度の利用（住宅改修費）に関する指導を行います。一人ひとりの状態に合った住宅改修となるよう、施工業者の介護に関する知識とケアマネジャーの建築に関する理解向上を支援します。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実施件数（件）	55	62	35	36	30	25
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				21	17	16
評価結果	課題と対応策など					
実施（達成）できた						

VI 地域包括ケアシステムの深化・推進

1 高齢者の居住環境の整備と地域資源の有効活用

(1) 地域資源の有効活用

③ 高齢者生活福祉センター（生活支援ハウス）

●居宅での独立した生活に不安がある高齢者に対し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、自立生活の助長と安心して健康で明るい生活を送れるよう支援します。

●今後も住宅等の提供は継続しますが、施設老朽化に伴い、修繕費及び備品購入費用等が年々増加傾向にあり、施設自体のあり方も含め、指定管理者と協議を検討します。

●生月高齢者生活福祉センター居室数10室、大島高齢者生活福祉センター居室数10室。

	6期実績			7期目標		
	2015 (h27)	2016 (h28)	2017 (h29) 見	2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2)
入所者数（人）	16	18	17	20	20	20
				▼		
				7期実績		
				2018 (h30)	2019 (R1)	2020 (R2) 見
				17	19	18
評価結果	課題と対応策など					
実施（達成）できた	施設老朽化に伴い、修繕費及び備品購入費用等が年々増加傾向にあり、施設自体のあり方も含め、検討を要します。					